

(06390066) 四国銀行健康保険組合 様 2023年度版(2022年度実績分) 健康スコアリングレポート

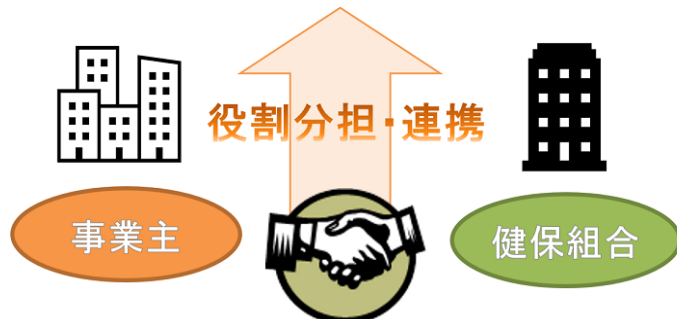
* 本レポートは、2020～2022年度のデータに基づいて作成しています。

貴組合の業態

金融業、保険業

健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！

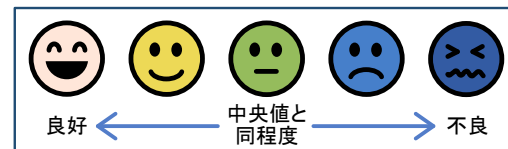
本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用する用語の定義】

「組合」及び「健保組合」：健康保険組合 / 「全組合」：全健康保険組合 /
「医療費」：年間医療費 / 「特定健診」：特定健康診査 /
「業態」：健康保険組合における業態（29分類）

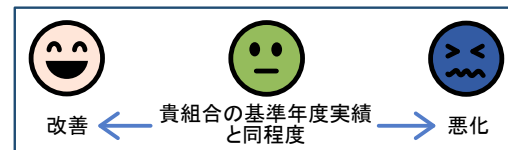
■判定基準値(全組合平均を100とした場合)



【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、健康スコアリングレポート参考資料P14・P15「(参考)各指標の算出方法」をご参照ください。

■判定基準値(貴組合の基準年度実績を100とした場合)



貴組合の特定健診・特定保健指導の実施状況

特定健診・特定保健指導

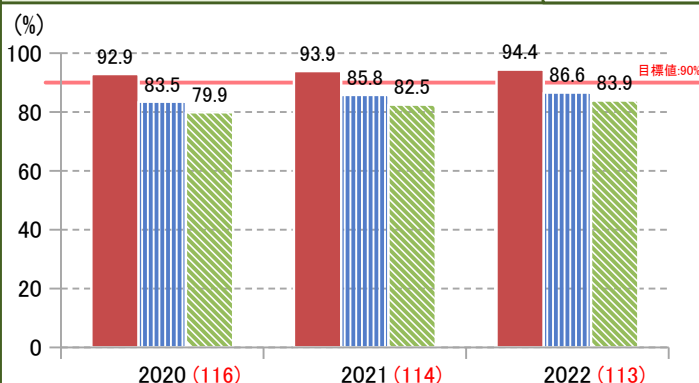
総合判定



特定健診の実施率

1ランクUPまで(*1)

最上位です

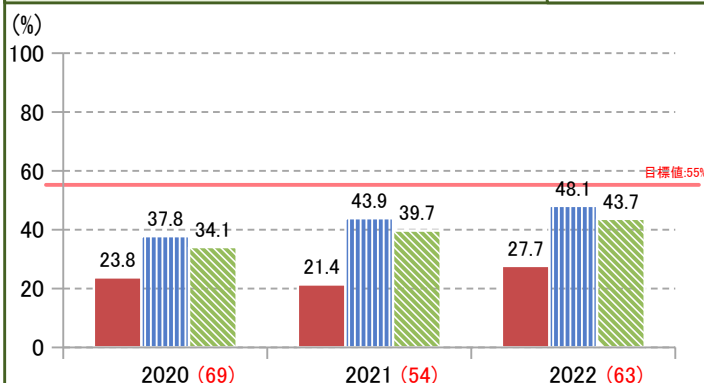


特定健診の実施率	2020	2021	2022
貴組合	92.9%	93.9%	94.4%
	40位 / 1,126組合	49位 / 1,127組合	41位 / 1,123組合
業態平均	83.5%	85.8%	86.6%
単一組合平均	79.9%	82.5%	83.9%

特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと5人



特定保健指導の実施率	2020	2021	2022
貴組合	23.8%	21.4%	27.7%
	672位 / 1,126組合	798位 / 1,127組合	747位 / 1,123組合
業態平均	37.8%	43.9%	48.1%
単一組合平均	34.1%	39.7%	43.7%

※ 目標値は、第3期(2018～2023年度)特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。

※ 順位は、保険者種別(単一・総合)目標の達成率の高い順にランキング。

※ ()内の数値は、単一組合平均を100とした際の貴組合の相対値。

※ (*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載。

■ 貴組合 ■ 業態平均 ■ 単一組合平均

貴組合の健康状況(生活習慣病リスク保有者の割合)

健康状況

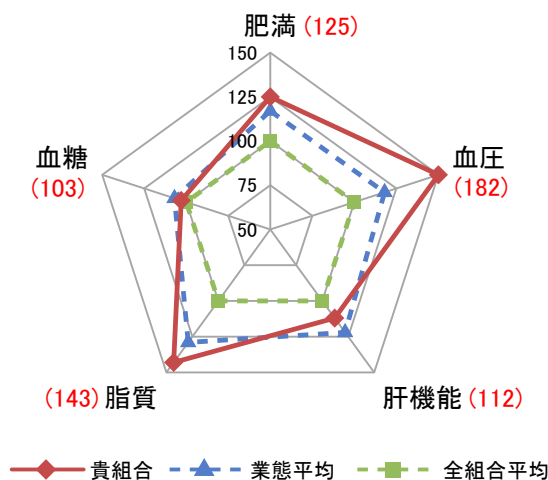
全組合平均を100とした場合

総合判定



* 数値が高いほど、良好な状態

[全組合平均: 100]



※ 2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化

		2020	2021	2022	
肥満	貴組合	129	127	125	😊
	業態平均	116	116	117	
血圧	貴組合	191	195	182	😊
	業態平均	117	118	118	
肝機能	貴組合	114	110	112	😊
	業態平均	121	121	122	
脂質	貴組合	132	131	143	😊
	業態平均	127	126	129	
血糖	貴組合	93	100	103	😐
	業態平均	106	108	107	

健康状況

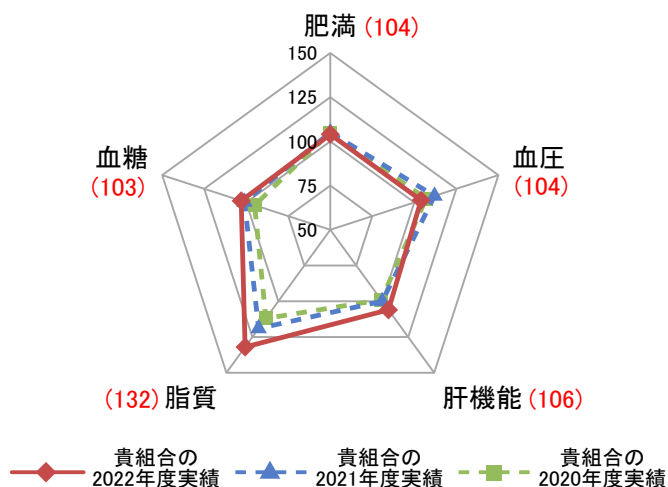
貴組合の2019年度実績を100とした場合

総合判定



* 数値が高いほど、改善された状態

[貴組合の2019年度実績: 100]



健康状況の経年変化

		2020	2021	2022	
肥満	貴組合	105	105	104	😊
	業態平均	116	116	117	
血圧	貴組合	107	112	104	😊
	業態平均	117	118	118	
肝機能	貴組合	99	100	106	😊
	業態平均	121	121	122	
脂質	貴組合	112	119	132	😊
	業態平均	127	126	129	
血糖	貴組合	95	101	103	😊
	業態平均	106	108	107	

【コラム】適度な飲酒で健康な肝臓を！

飲酒習慣別に肝機能異常症のリスク保有者割合をみると、1回の飲酒量が「1合未満」では、肝機能異常症のリスク保有者割合は飲酒頻度によらずほぼ同程度です。

しかしながら、飲酒頻度が同じ場合、1回の飲酒量が多いほど肝機能異常症のリスク保有者割合は高くなり、1回の飲酒量が「1合未満」から「3合以上」に増加すると肝機能異常症のリスク保有者割合は「ほとんど飲まない」「時々」では約1.8倍に、「毎日」では約2.4倍に上昇します。

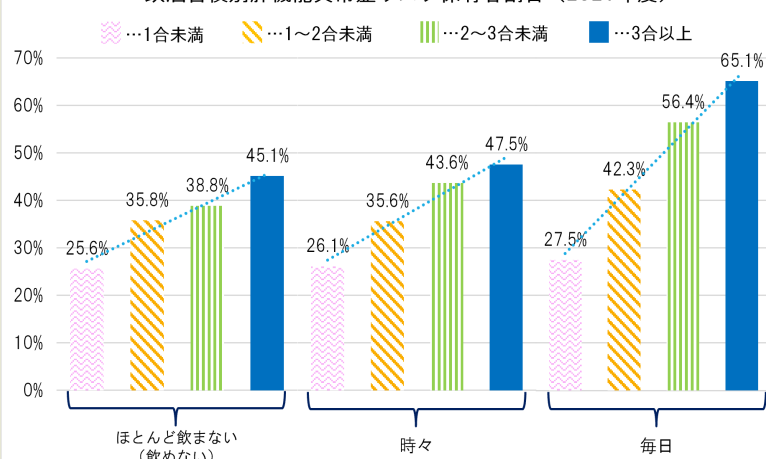
健康な肝臓を保つために、休肝日を作る、飲む量を1合減らす等、適度な飲酒習慣を心掛けるよう促しましょう。

※飲酒状況に関する質問票の全てに回答がある者のみを対象に算出

※2022年度報告(2021年度実績)データより算出

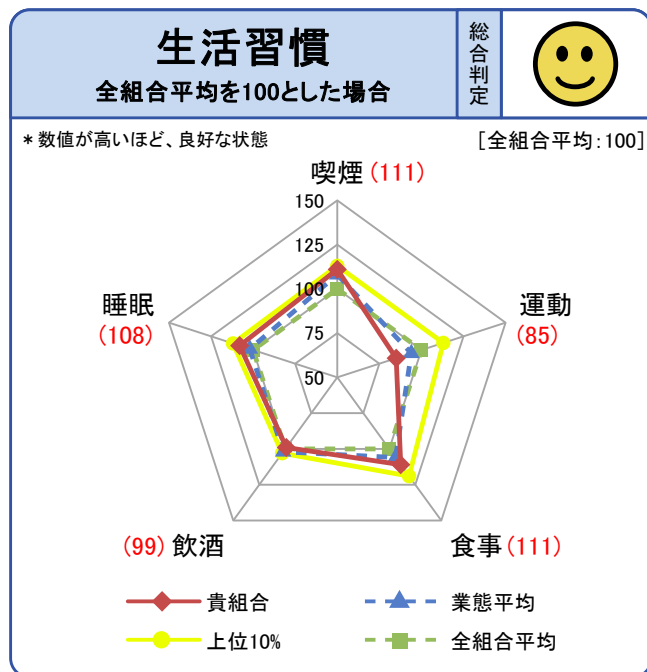
※肝機能異常症のリスク保有者…AST 31U/L以上、ALT 31U/L以上、γ-GTP 51U/L以上のいずれかに該当する者(健康スコアリングレポートと同一の定義)

飲酒習慣別肝機能異常症リスク保有者割合(2021年度)



貴組合の生活状況（適正な生活習慣を有する者の割合）

※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。

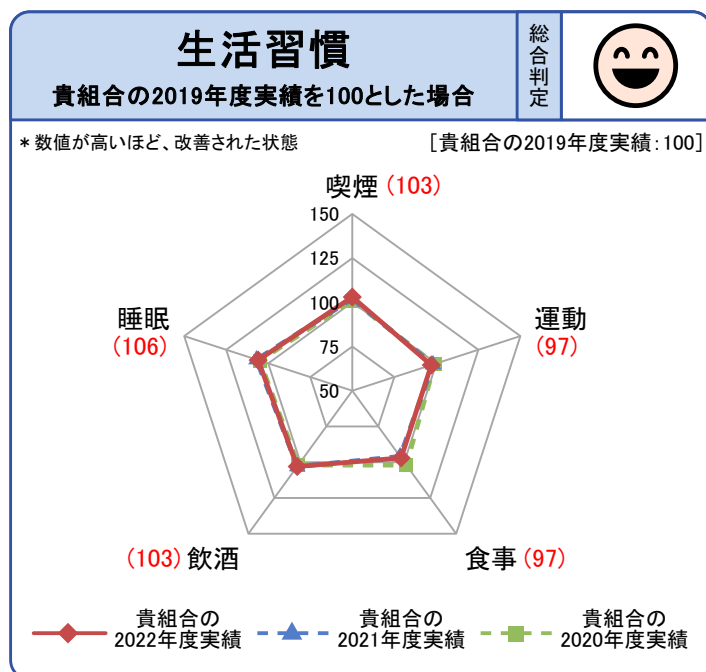


※ 2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	ランクUPまで (※1)
喫煙	貴組合	110	110	111	
	業態平均	109	108	108	 最上位です
	上位10%	114	113	113	
運動	貴組合	91	88	85	 あと 31人
	業態平均	95	94	94	
	上位10%	115	116	113	 あと 5人
食事	貴組合	115	109	111	
	業態平均	106	107	106	 あと 8人
	上位10%	119	120	119	
飲酒	貴組合	99	99	99	 最上位です
	業態平均	101	102	102	
	上位10%	103	103	103	 最上位です
睡眠	貴組合	104	108	108	
	業態平均	102	102	102	
	上位10%	113	111	112	

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合は、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。

(※1) “ランクUP”は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。



生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	
喫煙	貴組合	101	102	103	
	業態平均	101	102	103	
運動	貴組合	99	98	97	
	業態平均	99	98	97	
食事	貴組合	102	96	97	
	業態平均	102	96	97	
飲酒	貴組合	102	103	103	
	業態平均	102	103	103	
睡眠	貴組合	105	107	106	
	業態平均	105	107	106	

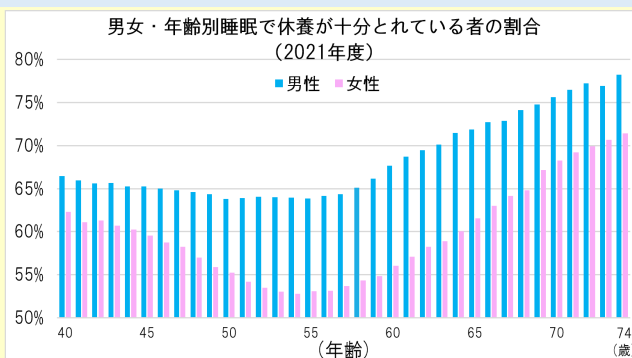
【コラム】生活習慣を見直し、睡眠で休養を十分とりましょう！

特定健診の睡眠に関する質問の結果を男女・年齢別にみると、40代から50代半ばにかけて睡眠で休養が十分とれている者の割合が低下しています。特に女性ではその傾向が顕著に表れており、その低下の程度が大きくなっています。少しでも良い睡眠習慣を身につけられるように、睡眠環境や生活習慣を可能な範囲で見直すように促しましょう。

※睡眠に関する質問票の回答がある被保険者のみを対象に算出

※2022年度報告（2021年度実績）データより算出

※睡眠で休養が十分とれている者の割合…特定健診の睡眠に関する質問「睡眠で休養が十分とれている」に「はい」と回答した者の数／特定健診の睡眠に関する質問に回答した者の数



(注) 【本レポートにおけるデータ対象】

・医療費：全加入者 / 特定健診（健康状況・生活習慣）：40歳～74歳。

・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。

健康状況・生活習慣・医療費は、対象となる加入者数50名未満の場合「×」を表示。

・2023年4月1日以前に合併のあった組合の2022年度分の医療費については、合併前の各組合のデータを合算して表示。

貴組合の医療費状況

1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移

医療費

参考：医療費総額(2022年度)

貴組合

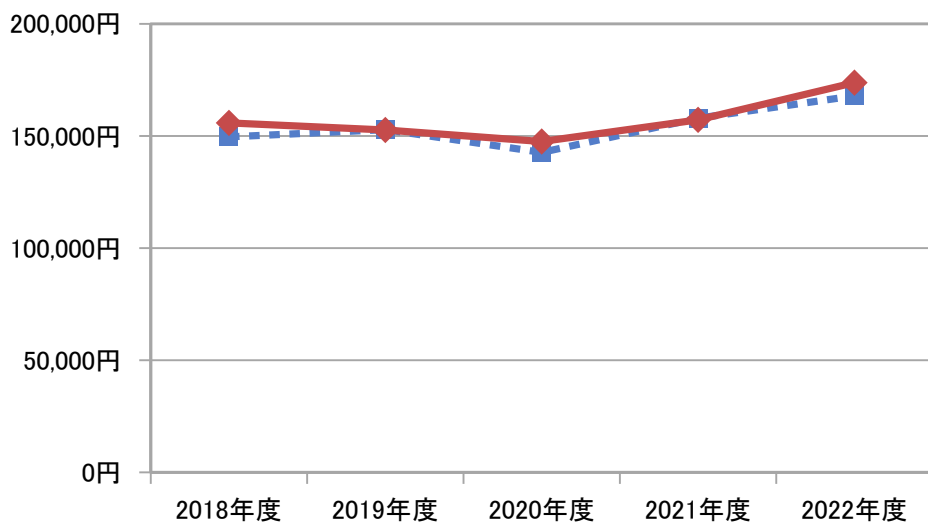
517百万円

—◆— 1人あたり医療費

性・年齢補正をしていない貴組合の総医療費を貴組合の加入者数で除した医療費。

-■- 性・年齢補正後標準医療費

全組合平均の性・年齢階級別1人あたり医療費を、貴組合の性・年齢階級別加入者数に当てはめて算出した1人あたり医療費。



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1人あたり医療費	155,839円	152,680円	147,541円	157,207円	173,791円
性・年齢補正後標準医療費	149,606円	152,838円	142,684円	157,949円	167,891円

【貴組合の1人あたり医療費(2022年度)】

貴組合	性・年齢補正後標準医療費	性・年齢補正後組合差指数
173,791円	167,891円	1.03

参考：貴組合の男女別・年代別1人あたり医療費(2022年度)

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
貴組合	191,040円	160,528円	97,399円	132,794円	171,367円	223,363円	452,206円
業態平均	184,952円	192,791円	112,013円	153,501円	167,121円	232,694円	348,707円
全組合平均	169,577円	181,951円	99,951円	134,300円	158,896円	227,499円	341,443円

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料巻末「各指標の算出方法」及び「健康スコアリング活用ガイドライン」を参照。

貴組合の後発医薬品の使用割合

貴組合の後発医薬品の使用割合(数量シェア)の推移

	2019年 3月診療分	2020年 3月診療分	2021年 3月診療分	2022年 3月診療分	2023年 3月診療分
後発医薬品の使用割合	71.1%	75.4%	78.1%	77.7%	80.2%

※実績年度の集計値ではなく、3月診療分の集計値。

健康スコアリングレポート【レポート本紙】

2023年度版

(2022年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省